



報道関係者各位

2026年9月2日

Marshall Group AB

Marshall、独立系ライブハウスを支援するグローバルプログラム

「KEEP LIVE MUSIC ALIVE」を日本で始動！

～Marshall 製品の購入を通じた支援に加え、

日本の音楽カルチャーを支える都内の独立系ライブハウスにて、

気鋭アーティストによるライブの共同開催も～



Marshall Group（本社：スウェーデン・ストックホルム、代表：Jeremy de Maillard、以下 Marshall）は、世界中の音楽カルチャーやコミュニティを支え、自らの声を発信し続ける表現者たちを称えるグローバルブランドプロジェクト「KEEP LIVE MUSIC ALIVE（ライブ音楽よ永遠に）」の日本における本格展開を、2026年9月より始動します。

Marshall は、1962年の創設以来、音楽が生まれ、アーティストとファンが直接つながるライブハウスを、音楽カルチャーに欠かせない存在として捉えてきました。今回のプロジェクトは、MARSHALL.COM での「AMPLIFY」メンバーシップ購入の1%分が独立系ライブハウスを支援します。日本の音楽カルチャーを長年にわたり支えてきた独立系ライブハウスを支援することで、音楽が生まれる場所を守るとともに、アーティストとファンが音楽を通じてつながる機会を未来へ残し、ライブミュージックの文化を次世代へつないでいきます。AMPLIFY プログラムの詳細については[公式ウェブサイト](#)にてご確認ください。

さらに、独立系ライブハウスを支援する取り組みの一環として、2026年9月から12月にかけて、下北沢や高円寺をはじめとする都内の独立系ライブハウスと協働し、日本の音楽シーンを牽引するアーティストから、これから

の時代を担う新進気鋭の新たな才能まで幅広くフォーカスを当てたプレミアムなライブイベントを定期的に共同開催します。支援の一環として入場料を原則無料とし、音楽カルチャーの熱源であるライブハウスから、日本の音楽シーンの今と未来を繋ぐ熱気溢れるステージを届けていきます。

■ Marshall の DNA「LOUD 精神」が鳴らす未来

Marshall の DNA ともいえる「LOUD（ラウド）精神」とは、単に音を大きく鳴らすことではなく、音楽のジャンルを超えて誰もが共鳴し、退屈な沈黙を打ち破る、音楽そのものの力を意味します。それはステージ上の熱狂を解き放ち、未来のスターを支え、人々の日常まで鼓動させていく、ブランドが大切にしてきた精神です。

これまで数々の音楽ムーブメントとともに歩んできた Marshall は、この LOUD 精神のもと、世界中の音楽カルチャーやコミュニティを支えるグローバルプロジェクト「KEEP LIVE MUSIC ALIVE」を展開しています。

Marshall は、今後も「LOUD 精神」を宿す表現者たちとともにアーティストの活動を支え、日本のライブミュージックカルチャーのさらなる発展と次世代への継承に貢献してまいります。

■ アーティストにおけるプレミアムなライブイベント

【開催概要】

日本の音楽シーンを牽引するアーティストから、今後の音楽シーンを担う新進気鋭のアーティストまでが一堂に会するプレミアムなライブイベントを、9月～12月にかけて、都内の独立系ライブハウスにて定期的で開催いたします。

開催期間： 2026年9月～12月

入場料： 原則無料 ※公演によって事前申込が必要となります。

開催スケジュール：＜第一回開催＞

日程：9/2(水) 17：00～

場所：幡ヶ谷 FORESTLIMIT

共催：『K/A/T/O MASSACRE』

アーティスト：自爆、他

＜第二回開催＞

日程：9/17(木) 19：00～

場所：下北沢 SPREAD

アーティスト：5 Star Cowboy、トリプルファイヤー 他

※ 9月17日以降のスケジュールは決定次第、随時発表いたします。

ライブハウスについて：

・ 幡ヶ谷 FORESTLIMIT

2009年のオープン以来、幡ヶ谷の地下から実験的な音楽とカルチャーを発信し続けてきたスペース。ノイズ、エレクトロニック、インダストリアル、ヒップホップ、パンク、DJ など、既存のジャンルや価値観にとらわれない多様な表現が日々交差し、ライブハウスやクラブという枠組みだけでは語れない、東京のアンダーグラウンドシーンを象徴する場所のひとつです。

・ 下北沢 SPREAD

2021年に下北沢にオープンした、音楽とカルチャーのためのスペース。DJ やバンドなど、ジャンルやスタイルにとらわれない現在進行形の音楽と表現を発信しています。小さな空間だからこそ生まれるアーティストとオーディエンスの近い距離感も魅力で、ライブハウスやクラブとはまた異なる、下北沢の現在のカルチャーを体感できる場所です。

・ 東高円寺 U.F.O.CLUB

1996年のオープン以来、東高円寺の地下からさまざまな音楽を発信してきたライブハウス。ロック、サイケデリック、ガレージをはじめ、ジャンルに収まらない音楽まで幅広いアーティストが出演し、この場所から新たな音楽を発信してきました。店内の壁面には、元ゆらゆら帝国・坂本慎太郎氏による作品が描かれており、音楽だけでなく空間そのものも魅力のひとつです。

・ 下北沢 SHELTER

1991年のオープン以来、下北沢の音楽シーンとともに歩み続けてきたライブハウス。ロック、パンク、オルタナティブを中心に、これまで数多くのバンドがこのステージから新たな音楽を鳴らしてきました。長きにわたり東京のライブハウス文化を支え続ける、下北沢を代表するライブハウスのひとつです。

・ 高円寺 STUDIO DOM

1994年の創業以来、高円寺の街と音楽シーンとともに歩んできたリハーサルスタジオ。バンドや DJ の練習に加え、ジャンルを問わずスタジオライブやさまざまなイベントを開催してきました。限られた空間に演者と観客が集まり、目の前で音楽を体感できるスタジオライブならではの熱量が魅力。屋上スペースでは、ライブの合間にゆっくりと過ごすこともできます。

■ 日本語スローガンのタイポグラフィデザインに佐々木俊氏を起用



佐々木 俊

グラフィックデザイナー。

2010年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。2016年 AYOND を設立。これまでに、詩人・最果夕ヒの『夜空はいつでも最高密度の青色だ』等の著書や詩の展示構成、「デザインの（居）場所」（東京国立近代美術館）宣伝美術、「NHK 紅白歌合戦」番組ロゴ、「ナイキ新宿」ストアロゴのデザインなどを担当。主な受賞歴として、2020年 JAGDA 新人賞、2024年世界ポスタートリエンナーレトヤマ銀賞がある。

■ Marshall Group について

Marshall Group は、オーディオ、テクノロジー、デザインの分野で革新を生み出し、ミュージシャンと音楽ファンをつなぐグローバルブランドです。主カブランドである Marshall は、60年以上にわたり、ライブステージから自宅、外出先に至るまでロックンロールの精神を体現し続け、唯一無二の存在として確固たる地位を築いてきました。世界90以上の国と地域で展開される Marshall の製品は、約800名の情熱あるスタッフによって開発・提供されており、音楽とともに生きるすべての人に向けて、進化し続けています。

■ Marshall Amplify について

Marshall Amplify は、グラスルーツの音楽シーンを支援する Marshall の取り組みです。この取り組みを通じて、インディペンデント音楽会場を皮切りに、Marshall は marshall.com での会員のご購入金額の1%相当額を寄付します。詳細については marshall.com/amplify をご覧ください。